



平成19年度社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム 九州大学 女性医療人きらめきプロジェクト

大学教育改革プログラム合同フォーラム in 横浜, 2008,2,9

これまでの取り組みと成果

社会的反響

女性医療人、生涯現役で
育児と仕事両立に悲鳴

平成19年11月14日西日本新聞にプロジェクトのキックオフを報道。

女性医師はどこに
負担増えず周囲も理解

24時間院内保育で環境整備

平成19年12月28-30日、毎日新聞で女性医師特集がくまれ、九州大学の取組も取り上げられた

諮問委員会・実行委員会の開催

平成19年8月21日、第1回諮問委員会開催女性医療人きらめきプロジェクトの説明と今後の計画を練る。以降定期的開催

女性医療人教育研究実践センターの開設

平成19年10月9日、女性医療人教育研究実践センター除幕式を行う。事務局と医員室が完成し、いよいよ実働開始。

女性総合外来と女性医療人ステップアップ外来の稼働

女性総合外来と女性医療人ステップアップ外来の設置

総合診療部 女性総合外来

性差医療 院内紹介

各科のプロジェクト実行委員
女性医療人ステップアップ外来医師

女性医療人ステップアップ外来

- ワークシェア
希望者には2名1組で外来勤務
- フレックス制
週1～5日、1日4～8時間勤務
- 女性医療人きらめきプロジェクトの運営業務にも携わる

平成19年12月より、非常勤女性医師、看護師が採用され、女性医療人ステップアップ外来が始まった。女性医療人のキャリアアップにつなげるシステムである。また、平成20年2月からは総合診療部と各診療科の実行委員やきらめきプロジェクト非常勤医師が連携して女性総合外来も始まる。

学生交流会の開催

「これからの医療人に望むもの」
平成20年1月25日
福岡県女性財団理事長(元福岡県副知事) 稗田慶子先生

平成20年1月25日、医学部医学科、保健学科、歯学部学生にこれからの医療人に望むものとして講演会を開催し、講演後、交流を図った。

キックオフミーティング

男性医療人も含めた意識改革

女性医療人きらめきプロジェクト
キックオフミーティング
「日本の医療をよくなるための女性医療人の役割 一女性医療人がきらめくために一」
元内閣官房副長官 古川貞二朗先生

平成19年11月14日、古川貞二朗先生を迎え、九州大学病院における女性医療人きらめきプロジェクトのキックオフを公報するために講演会を開催。医師、歯科医師、看護師、事務職248人が参加。講演集を作成した。内外の関係者に配付予定

医師会との連携

福岡県医師会男女共同参画部会研修会

平成19年度
「地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム」

テーマ1: 女性医師・看護師の臨床現場着及び復帰支援

女性医療人きらめきプロジェクト
一魅力ある職場での生涯現役をめざして一

平成19年12月8日、福岡県医師会とも連携。本プロジェクトを紹介し、お互いに連携して活動することとなった。

ホームページからの人材登録

HPからの休職中の女性医師・歯科医師や看護師の登録

女性医療人きらめきプロジェクト

平成20年2月よりホームページが開設された。休職中の女性医師・歯科医師、看護師にも登録していたが、内外に開かれたネットワークをつくる。学習環境もととのえる。

女性医療人の実態調査

女性医療人のメンタルヘルスに関連する要因の調査
働く女性の抱えるストレスを調査することによりその対処の方策を探る

ストレス対処能力

社会的支援

ストレス反応

平成20年2月実施、女性医師・歯科医師、看護師に行い、共通したストレスと、差異を明らかにし、対処の方策を探る

学習プログラムの提供

教育研修プログラムの提供

ライフステージにあわせて初期研修から復職プログラムまでを含む種々の教育研修

平成19年12月より、機器も整備され教育コンテンツの作成開始。ホームページを介してe-ラーニングとして配信する。

4つ葉のクローバー作戦

女性医療人きらめきプロジェクトのモットー
すべての医療人が働きやすい環境を目指します

4つ葉のクローバー作戦
C for Conversation
C for Communication
C for Confirmation
C for Collaboration

センター長 水田祥代 九州大学病院長
副センター長 橋本晶子 (医学研究院 保健学部門、専門: 循環器内科)
特任講師 徳永えり子 (専門: 乳癌外科)
非常勤女性医師 内 小保理 (専門: 皮膚科)
非常勤看護師 藤野ユリ子 (専門: 看護教育)
事務補佐員 山下恵子

諮問委員会
実行委員会
循環器内科、心療内科、呼吸器科、産婦人科、眼科、小児科、小児外科、皮膚科、麻酔科、産科、総合診療部、歯科

女性医療人教育研究実践センター事務局スタッフ

センター長 水田祥代 九州大学病院長
副センター長 橋本晶子 (医学研究院 保健学部門、専門: 循環器内科)
特任講師 徳永えり子 (専門: 乳癌外科)
非常勤女性医師 内 小保理 (専門: 皮膚科)
非常勤看護師 藤野ユリ子 (専門: 看護教育)
事務補佐員 山下恵子

諮問委員
医学部副研究員長: 飛松省三
医療系総合教育研究センター: 吉田崇文
医学部教務委員長: 岩城 徹
臨床教育研究センター長: 林 純 (総合診療部部長)
心療内科: 久保千香
循環器内科: 原 寿郎
呼吸器科: 中西洋一
産科婦人科: 和氣徳夫
小児科: 原 寿郎
小児外科: 田口智章
皮膚科: 古江増隆
眼科: 石橋達朗
麻酔科・救急科: 入田和男
産科: 樋口勝規
保健学科: 川本利恵子
大喜雅文
情報基礎研究開発センター: 井上 仁
看護部長: 中畑高子

実行委員
女性医師とのネットワーク構築: 由芽直子 (小児科)
人材バンク構築: 香福香織 (眼科)
調査・広報: 内田聡子 (産婦人科) 野田 裕紀子 (麻酔科 蘇生科)
e-ラーニング教育プログラムの企画: 末次彩子 (呼吸器科) 西坂麻里 (循環器内科) 洗井由香里 (呼吸器科)
医学部学生教育: 細井晶子 (心療内科)
女性外來設立準備: 金本陽子 (総合診療部) 内 博史 (皮膚科)
成果の評価: 西本祐子 (小児外科) 高橋由紀子 (小児外科)
歯学部での女性医師ネットワーク構築: 城戸瑞穂 (歯科部門)